

2025年12月10日  
日本船主協会 企画部広報室

海運の重要性を学校教育の場で  
～東京都内で海事施設見学を実施～

当協会は、海運をはじめとする海事産業の重要性を学校教育において取り上げていた  
だくよう、海事施設等の見学会や出前授業、資料提供の実施等に取り組んでおります。

11月28日（金）にさいたま市立浦和大里小学校による海事施設見学に協力しました  
ので、その模様をお知らせします。当日は、東京臨海部広報展示室「TOKYO ミナトリエ」の展示を見学した後、そなエリア東京（防災体験学習）の見学と東京港社会科見学  
船の乗船体験が実施されました。そのうち当協会では、TOKYO ミナトリエでの見学に  
協力しました。

TOKYO ミナトリエでは、東京港の成り立ちや歴史に関する展示、港湾での荷役作業  
に関する展示等を見学し、東京港について学びました。当日はコンテナ船が多数着岸し  
ており、荷役中の様子を見ることができました。児童たちからは「ガントリークレーン  
が動いている！コンテナ大きい！」と歓声の声が上がりました。



TOKYO ミナトリエの展示見学の様子

窓からの景色に目を奪われつつも、児童たちは学校で用意された社会科学習用のしお  
りに記載された問題の答えを探しまわりながら、熱心に展示を見学し、たくさんのメモ  
を取っていました。

当協会は引き続き、会員会社や関連団体等と連携しながら、海事産業をより教育の場  
に取り上げてもらえるよう広報活動に注力してまいります。

以上